



多摩クリニック ニュースレター

第8号

2013 August

WE SUPPORT THE ENJOYMENT OF EATING ALL THROUGH YOUR LIFE!

先進的な地域歯科連携モデル始まる！

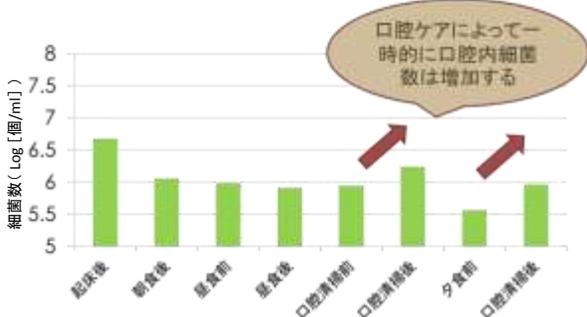
私たちが行った調査(平成23年厚生労働省健康増進等事業)では、在宅療養者のうち定期的に歯科を受診している人の割合は15%に過ぎません。在宅療養者の多くは口腔内に問題を抱えながら、歯科とのアクセスが途絶えていると言えます。一方、日本人の死因の第3位は肺炎で、人口の高齢化に伴い肺炎による死亡は今後も増加することが予想されています。肺炎のリスクは、口腔環境の悪化、摂食機能の低下、低栄養であるといわれ、歯科の支援が必要です。しかし、入院中に肺炎の治癒をみてもこれらの肺炎に対するリスクを抱えたまま、退院に至っている場合も多く、肺炎の再発によって、再び入院するケースが後を絶ちません。そこで、繰り返す肺炎の発症を未然に防ぐために、入院中から在宅療養にかけての一貫した口腔支援が必要であると考えます。



そこで、三鷹市にある医療法人財団慈生会野村病院と連携し、入院中から退院後を視野に入れた口腔支援の取り組みと、退院時カンファレンスを介した、在宅医療、在宅歯科医療との連携体制を構築し、口腔支援を中心とした介護の重症化予防、生活の質の向上、地域における人材育成を目途とした地域連携モデルを実施しています。このモデルには、地域の歯科医師会の協力を得ています。先進的な地域歯科連携モデルとして注目ください。

Topic! 口腔ケアの落とし穴!

口腔細菌数の推移



口腔内の細菌は、一日の中でどのように変化しているのでしょうか？ 特別養護老人ホームに入居する要介護高齢者1名を対象に、口腔内細菌数を測定した結果をご紹介します。

唾液中の細菌数の変動は、起床直後の口腔内が最も汚れていることがわかりました。しかしながら、重要な点はもう一つあり、口腔ケアを行った直後に細菌数の著しい上昇が見られたことです。これは口腔ケアによって唾液中の細菌数が増えたことを示しています。口腔ケア時のブラッシングは歯垢(プラーク)を機械的に歯面から削ぎ落とし、それは口腔内に落下します。口腔内に落下した細菌塊は、通常、含嗽(うがい)や唾液の嚥下によって口腔外へ排出されるか、胃酸によって多くの細菌は死滅します。一方、要介護高齢者の多くは含嗽が困難で、効率良く口腔外へ排出することが困難です。従って、口腔ケアを行う際には、「破壊」と「回収」を意識して行うべきであると考えます。「破壊」とは、歯ブラシや歯間ブラシ、ワンタフトブラシなどで汚れを擦り落とすことで、「回収」とは、擦り落とした細菌塊をいかに口腔外へ排出するかを意味します。その方法として、吸引器で口腔内に貯留した唾液を吸引したり、ガーゼ・口腔ケアウェットティッシュなどで拭き取ったりすることが必要になります。

認知症高齢者に対する治療指針は？

今後も増加することが予想されている認知症高齢者。歯科においても適切な対応が必要となっています。認知症は認知機能の低下と同時に後期には運動機能の低下も示すために咀嚼障害が出現し、ゆくゆくは嚥下機能も侵され肺炎で多くの方は命と落とします。下にステージに応じた目標と治療指針を示しましたので参考にしてください。多摩クリニックでは、認知高齢者に対する静脈麻酔などを利用する集中治療を行っていますのでご相談ください。

| | 初期 | 中期 | 後期 |
|---------------|--|--|--|
| 歯科治療能力 | 簡単な指示に従え 通常の歯科治療を受けることができる | 長時間の治療が困難 細かな指示には 従えない | 治療困難 安全な口腔ケア |
| 口腔衛生管理 | 習慣は残るが効果的な セルフケアは困難 | セルフケア そのものも困難に 介助の拒否も見られる | 著しい口腔衛生状態の 悪化 誤嚥のリスクを持つ |
| 口腔運動機能 | 低下は軽微 | 咀嚼機能低下 | 著しい咀嚼機能 嚥下機能の低下 |
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> 咀嚼機能の維持 対応困難になる時期に備える | <ul style="list-style-type: none"> 咀嚼機能の低下予防 口腔衛生状態の維持に努める 咀嚼機能の低下を見極める 介護負担度の軽減 | <ul style="list-style-type: none"> 低栄養予防 誤嚥性肺炎予防 窒息予防 |
| 介入内容 | 良好な口腔内環境を構築するための 歯科治療 (不良補綴物の再製、歯周治療や歯内治療) 口腔ケアは一部介助導入 | 良好な口腔内環境を維持するための 歯科治療 (義歯修理、う蝕治療) 口腔ケアは全面介助 | 食形態指導、栄養指導 集中的な口腔ケアの導入 時として、 義歯不要宣言 |

連携研修会のお知らせ

在宅歯科医療研究会
第3回：9月12日(木)18時半～
第4回：11月21日(木)18時半～

臨床カンファレンス
第5回：12月12日(木)19時～

お申し込みはFAX:042-316-6212まで

こども研修会情報

7月24日(水)、クリニック3階の研修室にて、平成25年度第1回摂食・嚥下研修会～発達期編～(こども研修会)をおこないました。今年度は特別支援学校の先生や栄養・調理関係の方々と一緒に、共通認識をもって地域連携を図ることを目的に、人数限定で開催させていただきました。参加された方々は、摂食指導の経験の無い方から経験年数16年以上！という超ベテランの方までさまざまでした。研修後、摂食指導で困っていることについてお伺いしたところ、摂食機能の評価や食形態の変更の指針、介助方法が統一化しきれない、など、現場ならではのお悩みが多く聞かれました。

この研修会を通じて、地域のこども達が美味しく、楽しく、安全に食事ができ、そして適切な時期に機能を伸ばしていけるよう、地域全体の取り組みの足掛かりを作っていきたいと考えています。

この研修会は人数限定なのですが、今後、多職種参加型のこども研修会も企画いたします。

イベント ☆旧暦七夕祭り☆

クリニックでは、旧暦七夕に合わせて患者さんにお問い合わせの短冊を下げてくださいました。ご自身の健康を願う方、お子さんの成長を願う方、など、いくつもの素晴らしいお願いごとの短冊が鈴なりになり、とても綺麗です。8月中は笹を飾っておりますので、ぜひご覧ください。

日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック

- ・アクセス JR中央線 東小金井駅 南口 目の前
- ・連絡先 〒184-0011 東京都小金井市東町4-4-19
- TEL 042-316-6211 Fax 042-316-6212
- ・診療時間 午前9:30-12:00 午後13:00-17:00(最終予約16:00)

※予約制

・外来

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------------|---|---|---|---|---|---|
| 摂食外来 おとな | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| こども | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 言語外来 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| スペシャルニーズ歯科外来 | | ○ | | | | ○ |
| 口腔外科外来 | ○ | | | | | |

年末年始・創立記念日・祝日を除く。

- ・訪問口腔リハビリテーション
- ・訪問嚥下機能評価(VEほか)
- ・訪問栄養指導
- ・CT撮影サービス

随時ご相談ください。

多摩クリニック専用の診療情報提供書をご用意しております。多摩クリニック事務部までお問い合わせください。